びまん性内在性橋グリオーマ (DIPG)における WT1 蛋白の発現状況および分子学的特徴と予後との関連に関する研究

１．研究の対象

30 才未満で、今までにびまん性内在性橋グリオーマと診断された患者さん

２．研究の概要

びまん性内在性橋グリオーマ (Diffuse Intrinsic Pontine Glioma:DIPG)の方から各施設で保存されている腫瘍検体をいただき腫瘍検体における WT1 蛋白の発現状況、分子学的特徴と予後を評価し、WT1 蛋白を標的とした治療や分子学的特徴に基づいた治療の開発を推進することが目的です。この研究のためだけに新たなデータを収集するための調査などは実施されません。

研究期間:所属機関の長の研究実施許可日～2027 年 12 月 31 日
研究目的: DIPG 腫瘍における WT1 蛋白の発現状況や分子学的特徴を明らかにすることです。
研究方法: 研究対象者の方の情報を後ろ向きに調査し、WT1 蛋白の発現状況や分子学的特徴を評価し予後との関連をあきらかにします。

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：発症年齢、発症年月、増悪年月、最終観察日、転帰、悪性度（施設の判断）
腫瘍組織標本

４．外部への試料・情報の提供

施設から腫瘍パラフィンブロックもしくは腫瘍の薄切標本は大阪国際がんセンターへ提供され、業務委託先である大阪大学へ送られます。大阪大学で腫瘍を染色し、検査します。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は各共同研究機関の担当者が保管・管理します。

５．研究組織

主たる研究機関及び研究代表者
大阪国際がんセンター小児科　橋井佳子

共同研究機関及び研究責任者
新潟大学　脳研究所　脳神経外科　棗田　学
東京女子医科大学　脳神経外科　千葉謙太郎
埼玉医科大学 国際医療センター　脳脊髄腫瘍科　鈴木智成
京都大学大学院医学研究科　脳神経外科学　荒川芳輝

業務委託先
大阪大学医学部　病理学講座 病態病理学　森井英一

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(各機関の問い合わせ先)

新潟大学　脳研究所　脳神経外科　棗田　学
〒951-8585 新潟市中央区旭町通 1-757
電話 025-227-0653

東京女子医科大学　脳神経外科　千葉謙太郎
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
電話 03-3353-8111

埼玉医科大学 国際医療センター　小児脳脊髄腫瘍科　鈴木智成
〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1
電話 042-984-4111

京都大学大学院医学研究科　脳神経外科学
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
電話 075-751-3653

本研究の研究責任者
大阪国際がんセンター　小児科　橋井佳子
住所：〒５４１－８５６７　大阪市中央区大手前３－１－６９
電話：０６－６９４５－１１８１

----------**以上**